

A米國紙

△消極退歩策ヨリ軍擴

消極退歩政策ハ結局他國ノ侮蔑ヲ招キ、其ノ結果輿論ヲ刺戟シテ  
戦争ヲ不可避トスルカラ、各國ノ軍備縮少力實現セラレテ米國ノ  
権益力平和裡ニ確保セラレル様ナ事態ニナラナイ限り、軍備ヲ強  
化スル方カヨイ（二十九日ニニューヨーク・タイムズ紙）

△議會ハ軍擴ニ即時同意セヨ

國家自己保存ノ第一義的必要カラ出發スル軍備擴張計畫ニ對シ、  
議會ハ全會一致速ニ同意ヲ與フヘキテアル（二十九日ワシントン・  
スター紙）

△外交國防政策ノ内容ヲ明示セヨ

本件計畫ハ將來ニ莫大ノ負擔ヲ貽ス重大問題テアルカラ、右計畫  
ノ目標トスル外交國防政策ノ内容ヲ明カニスル必要カアル（二十一  
九日ニニューヨーク・ヘラルド・トリビューン紙）

武昌事変後、英米は、中国の内政干渉を避けて、日本に外交的行動を取る。本邦は、日本が内政干渉を許さないことを主張する。一方で、本邦は、日本が内政干渉を許さないことを主張する。

本邦は、金魯の資本は、同族を興すのが目的である。本邦は、金魯の資本は、同族を興すのが目的である。本邦は、金魯の資本は、同族を興すのが目的である。

本邦は、金魯の資本は、同族を興すのが目的である。本邦は、金魯の資本は、同族を興すのが目的である。本邦は、金魯の資本は、同族を興すのが目的である。

本邦は、金魯の資本は、同族を興すのが目的である。本邦は、金魯の資本は、同族を興すのが目的である。本邦は、金魯の資本は、同族を興すのが目的である。

本邦は、金魯の資本は、同族を興すのが目的である。本邦は、金魯の資本は、同族を興すのが目的である。本邦は、金魯の資本は、同族を興すのが目的である。

### △極東権益ノ擁護ニハ戦争反対

米國ノ国防政策カ其ノ領土ニ對スル外國侵略ノ防禦、即チ「アラスカ」、カラ布陸ヲ經テ巴奈馬ニ至ル防禦線ヲ維持スルニアルナラ。本件計畫ニ依ル二割ノ増強ハ其ノ必要ハアルマ。若シ支那ニ於ケル米國権益ノ保護迄モ目標トスルナラ、本件計畫テハ到底不充分テアル。極東ニ於ケル権益ノ爲戦争ヲスルコトニハ米國人ノ大多數ハ反対シテイル（二十九日クリスチヤン・サイエンス・モニターア紙）

### △英米共同動作ノ可能性

英米兩國ノ前途及利害關係ハ非常ニ似通ツテ居リ、又英國ハ假令海軍擴張ヲ完成シテモ北海、「ライン」ノ前線及地中海方面ニ於テ危險ニ曝サレル虞カアルノテ、米國ヲ攻擊スル等ト言フコトハ有り得ナイ。ソレ故現今ノ様ナ國際的無政府狀態ニ於テハ、英米兩國力次第ニ接近シテ同盟ヲ結フ様ナ傾向ハアラウカ、米國政府カ世界ノ侵略國ヲ押ヘテ「デモクラシー」ヲ保持スル爲ニ、英國